

令和7年第4回姫路市議会定例会（未定稿）

令和7年12月8日（月）

○大西陽介議員（登壇）

前川議員の2項目めの質問と重複する部分があるかと思いますが、よろしくお願いします。

以前、姫路市医師会看護専門学校の関係者と意見交換する機会があり、その内容に基づき、当学校の在り方について質問いたします。

当学校は、平成15年3月の姫路市医師会及び藤森医療財団との間で締結された合意書に基づいて、姫路市から所要額の補助を受けて管理運営されております。

この看護学校の主たる収入は学生納付金と国、県と市からの補助金であり、一方、支出は看護学校の教育維持向上のための教員及び非常勤講師への人件費や実習施設への実習委託料に多額の経費を要しており、その結果、当学校の収支の現状は非常に厳しい状況にあります。

現在、医療をめぐる環境は人口構造や疾病構造が急速に変化し、国民の医療ニーズにも多様化、複雑化しております。こうした環境やニーズの変化に対しの確に対応するため、医療の高度化、専門化、チーム医療の推進など質の高い医療従事者の育成が求められております。

このような状況の中、看護師の役割はさらに大きくなり、その養成のための看護基礎教育の充実が必要となります。

地域の保健医療福祉活動に貢献できる看護師を養成することを目標としている当校は令和6年度末で1,515名の看護師を輩出し、そのうち約70%が姫路市内の医療機関に就職している状況です。

しかしながら、近隣看護学校に比べ交通の利便性が悪く、ここ数年間での少子化や大学志向による受験生の減少が顕著に見られ、定員80名を確保することが困難となり、令和7年度入学者は54名にとどまっております。

また、令和8年4月をもって開校後22年を迎え、屋上屋根部分をはじめ劣化が様々なものに見られ更改時期を迎えており、看護学校保全計画に基づく修繕が必要である状況であります。

そこで質問します。

本市における当看護学校はどのような位置づけなのか、また、将来的なビジョンについてどのように考えているのかお答えください。よろしくお願いします。

○石堂大輔議長

福本健康福祉局長。

○福本裕丈健康福祉局長

お答えいたします。

まず、本市における姫路市医師会看護専門学校の位置づけですが、市内には大学の看護学部と病院が運営している看護専門学校があり、姫路市医師会看護専門学校を含めた5か所で看護師を養成されております。

その中で医師会看護専門学校は、議員お示しのように、令和6年度の実績におきましては、卒業生の約7割が市内の医療機関に就職されており、本市の看護師確保に貢献いただいているものと認識いたしております。

看護師の確保につきましては、姫路市全体でどのように看護師を確保していくか、総合的に各種方策を検討する必要があると考えております。

その確保策の1つとして、今後の医師会看護専門学校の在り方を姫路市医師会とともに協議を重ねており、その中で医師会看護専門学校の将来ビジョンについても検討しているところでございます。

また現在、医師会看護専門学校において、市内病院や診療所の看護師の充足状況や将来の需要を把握するためアンケート調査を実施し、その回答を分析しているところであり、その分析結果も踏まえ総合的に検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○石堂大輔議長

32番 大西陽介議員。

○大西陽介議員

これから建物の老朽化、どんどん進んでいくと思うんですけども、維持管理費もどんどんこれからかかってくる。そういう状況見えてる中で、どのように対応策を考えてるのかお答えください。

○石堂大輔議長

福本健康福祉局長。

○福本裕丈健康福祉局長

お答えいたします。

設立から20年以上が経過し、施設の老朽化が見られておりと認識しており、令和6年度は空調設備に係る大規模改修に対して支援を実施いたしました。

その他の改修につきましては、市の公共建築物保全計画の大規模改修の標準ルールに照らし合わせるとともに、現在医師会と協議を重ねている在り方の検討も踏まえ、現在検討しているところでございます。

以上でございます。

○石堂大輔議長

32 番 大西陽介議員。

○大西陽介議員

会派要望の時にも確認したんですけれども、旧市場跡地の所有者の方々は市立高校にするからということで、条件で売っていただいたと、姫路市が買えたということを知りました。

そういう特色ある単位制高校を目指すのであれば、その高校に看護科もしくは看護コース的なものを設置してですね、交通環境もよくなって無駄な維持管理もかからなく、新しく施設として使えるんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○石堂大輔議長

平山教育次長。

○平山智樹教育次長

お答えいたします。

まず、令和8年4月に開校する姫路市立高等学校では、全日制普通科単位制の学校として多様な進路等に沿ったカリキュラムを展開してまいります。

その中で、現在の市立高校の生徒の中には医療や看護系の大学等を希望する生徒も一定数いることから、新高校のカリキュラムではそうした生徒たちに進路に進みやすい選択科目も設定しているところでございます。

その中で、例えば医療従事者の方にご協力いただき現場の話をお聞きするなど、生徒たちが具体的に将来をイメージできる事業の内容にしていきたいと考えております。

市場跡地における新校舎建設につきましては、現在、市長部局と教育委員会事務局が協同しながら基本計画の検討を進めているところでございます。

また、市場跡地への移転後につきましては、4月の開校以後の状況を踏まえてカリキュラムの内容を段階的に発展させてまいりたいと思って考えております。

いずれにいたしましても、地域の医療を担う未来人材育成の観点も踏まえまして、生徒一人一人の進路を支えてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○石堂大輔議長

32 番 大西陽介議員。

○大西陽介議員

ありがとうございます。

この学校はですね、姫路の地域医療に多大な貢献をしていただいた藤森先生の遺志もあって、この学校はもうやっぱ残していかなあかんし、発展させなあかんと思うんですけど、その辺りどのように考えていらっしゃいますでしょうか。

○石堂大輔議長

福本健康福祉局長。

○福本裕文健康福祉局長

お答えいたします。

医師会看護学校の在り方につきまして医師会と協議を重ねていく中で、例えば看護学生が市内の医療機関に就職していただけるような動機づけとなるようなインセンティブにつきましても検討していき、看護学校の活性化につなげていきたいと考えております。

以上でございます。

○石堂大輔議長

32 番 大西陽介議員。

○大西陽介議員

ありがとうございます。

実は私の息子は4年制の学校を出てですね、看護師をやっております。今ちょっと指導的なことをやってるらしいんですけども、この学校出てきた看護師さん、すごい優秀らしいですよ。全然違うと。4年制から来た看護師さんよりもずっと即戦力になってるということを言っていました。

そういう学校はやっぱり残していかなあかんし、例えば県立高校ですけども香寺高校の中には看護コース的なものがあったりとかするので、将来的には、最終ゴールイメージですけども、やっぱり利便性のいい手柄で看護学校を開校できることを要望して、質問を終わりたいと思います。よろしくをお願いします。

○石堂大輔議長

以上で、大西陽介議員の質疑・質問を終了します。